令和4年第2回定例区議会が開催されました

第二回定例区議会日程

令和4年6月7日から6月23日の17日間の会期で令和4年第2回葛飾区議会定例会が開催され、予算案3件、条例案7件、契約案5件、その他案1件、議員提出議案5件、についての審議が行われました。

令和4年度一般会計補正予算（第1号）が原案通り可決

令和4年度補正予算第1号は歳入歳出にそれぞれ38億723万円を追加し、予算の総額を2158億723万円とする一般会計補正予算案が原案の通り可決しました。

令和4年度補正予算1号の主な内容

- 東金町の公共施設等整備基金積立金…… 19億1,381万円
- 区政施行90周年記念事業経費…… 1,112万円
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業経費…… 2億3,010万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金…… 9億8,088万円
- 子育て世帯への臨時特別給付事業経費… 2,944万円
- 新型コロナウイルス関連の防疫事業経費 3億736万円
- 子宮頸がん対策事業経費…… 1億2,766万円
- 給食費の値上げ抑制のための学校給食運営経費…… 5,443万円
- 亀有公衆喫煙所を整備する設計委託費… 241万円
- ふるさとナンバー作成経費…… 355万円

一般質問

筒井たかひさ

区民生活や区内経済の向上と我が街の活性化に向けて

◆事業の企画検討段階における経費

問 土地の取得をはじめ、特に大きな事業の企画検討段階における調査・研究に活用できる経費を予算に位置付けるべきと考えるが、見解を伺う。

答 答多額の財源を要する事業については、事前に十分に調査・研究を実施しながら、投資以上の効果を地域にもたらすことができるかという視点から検討を進め、実施の可否などを判断すべきと考える。こうした調査・研究に基づき区議会と議論を重ねながら、未来の区の持続可能な発展に向けた政策決定を行っていけるよう、予算化に向けて積極的に検討を進める。

※他の質問項目　経費の活用分野や予算に位置付けるに当たっての課題　など

◆公契約のあり方とともに契約履行の事業評価と入札の関係

問 公契約を巡る区内の労働環境について、どのような認識があるのか。

答 労働環境全体として、ベテラン社員の高齢化、若手社員の離職問題をはじめとする労働人口の減少、いわゆる担い手不足が課題として挙げられている。特に、技能労働者の育成および確保に資する、労働環境整備を図っていく必要があると考えている。

※他の質問項目　実現への課題　など

◆地域活性と安心安全のためのサッカースタジアム建設

問 サッカースタジアムは、防災面や環境面などにも大きな効用があると考えるが、見解を伺う。

答 答スタジアムは、スポーツの振興にとどまらず、区内商業や観光業をはじめ、雇用促進など地域経済を大きく活性化させるとともに、防災面、環境面からも大きな効用があると考える。

今後も、候補地の選定や費用の調達方法、併設施設の活用などの視点から、引き続き検討を進めていく。

※他の質問項目　民間の活用　など

◆「歩きスマホ」による事故等の防止に向けた条例の制定

問 歩きスマホの事故等を削減するため、さらなる啓発が必要である。現在の啓発状況と今後の啓発の展開、事故等を防止する条例制定について伺う。

答 歩きスマホの危険性について、交通ルールやマナー啓発の一環として、広報紙などで啓発を行ってきた。今後は、小中高校生を対象にした交通安全教室において、歩きスマホの危険性を知らせるなど、啓発に取り組む。さらに、交通事故を引き起こす可能性のある危険な行為であることに鑑み、歩きスマホなどを防止する条例の制定を検討していく。

一般質問

齊藤　大介

公共交通整備による街づくりと地域コミュニティーの活性化を

◆新金線を活用した公共交通の整備

問 早期旅客化の実現に向けて、国道6号以南の開通を先行して整備することを目指しているが、同時に国道6号以北から金町駅への開通を目指した具体的な計画を示さなければ、旅客路線としての価値が大きく失われてしまうと思うが、見解を伺う。

答 答新小岩から金町間の全線旅客化が実現することで最大限の効果が生まれることから、立体化も含めた国道6号との交差方法や金町駅舎などの改良など、全線旅客化を見据えた検討を進めるよう、指示している。しかし、国道6号との平面交差において、踏切における安全確保などさまざまな課題があり、時間を要することが見込まれるため、国道6号南側区間を先行的に整備することとした。

※他の質問項目　担当組織拡大　など

写真：「区議会だより」より

新金貨物線（高砂踏切）

◆自治町会の活性化

問 自治町会加入率の現状と、マンション居住者への加入促進の取り組み状況について伺う。

答 令和3年度の自治町会加入率は56・9％となり、2年度の57・2％と比較して0.3ポイント減少の結果となった。マンション居住者の加入が進まないことも要因となっており、これまで指導要綱を制定し、建設事業者に協力を要請してきたが、令和4年10月施行予定の葛飾区集合住宅等の建築及び管理に関する条例に、自治町会への加入に関する事前協議などの内容を新たに盛り込んだ。

※他の質問項目　役員への支援　など

◆区民の健康づくりに向けた連携・協働

問 匿名加工情報によるビッグデータの活用も視野に、健康づくりに関わる各部局の情報連携・共有を図り、効果的な健康施策を展開していく必要があると考えるが、見解を伺う。

答 健康施策を展開していくには、各部局の連携が必要不可欠であると考えている。「健康長寿のまち、葛飾」の実現に向け各部署が連携し、一体的に取り組んでいく。また、パーソナル・ヘルス・レコードを用いたビッグデータの活用も必要なことと認識しており、国の動向を踏まえ、より有効な活用方法を検討する。

※他の質問項目　スポーツ活動の相談窓口の環境整備　など

他の質問件名　堀切橋・飯塚橋・平井大橋のバリアフリー化